



「くぬぎ山」の自然再生が始動

「くぬぎ山地区自然再生事業」

子ども達の未来に美しい林を残すために、緑を守り、再生していくことは、私たちの願いです。しかし、一度壊れた緑を元の林に戻すのは、一朝一夕にできることはありません。市では、国・県などの補助を受け焼却炉を有する事業所の土地を購入し、元の林に戻す「くぬぎ山地区自然再生事業」に取り組んでいます。



コナラ、くぬぎ、くりなどの根株13本の移植を行いました。将来、切り株から新芽が育っていきます(だ円写真)

くぬぎ山地区の自然再生 工事がはじまりました

平成14年9月に環境省および県補助事業を導入し、公有地化した焼却施設用地の一部約2千㎡に、付近の道路建設用地で伐採予定だったコナラやくぬぎなどの根株や稚樹を表土ごと移植する工事を開始しました。根株ゾーンと稚樹ゾーン、そして環境教育の場としての播種ゾーンを設定して以前の植生と同様な里山の復元を行っていきます。



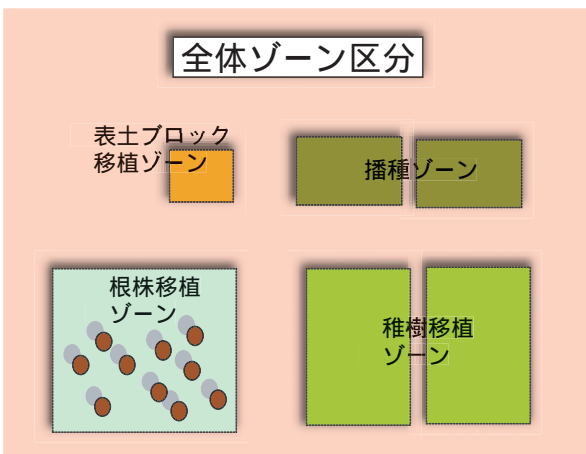
「表土ブロック移植」では、自然をそのまま移植します。土の中には、植物の種や虫などもいます

自然とふれあうことで 感情豊かな子どもを育てる

雑木林の再生は、市民皆さんの協力がなければ進みません。今後NPO、学校、地域関係団体の方々にドンケリ拾いや種まき、植樹、下草刈りなどの作業をお願いしていく予定です。

北海道の釧路湿原とくぬぎ山地区の2か所が、国のふるさと自然再生事業として位置づけられたことで、全国のモデル事業として注目されています。将来は、多くの市民が散策や休息、自然体験などを通じて、雑木林の美しさや生物の豊かさなどを実感していただける市民の憩いの場、子ども達の環境学習のフィールドにしていきます。

全体ゾーン区分



● 問合せ緑の保全創造プロジェクトチームへ内線3674

- 全体ゾーン区分
- ① 根株移植ゾーン
伐採予定地の高木を根元から切り倒し、根株を掘り取って移植する
- ② 稚樹移植ゾーン
周辺の樹木の林床に生育する実生を移植する
- ③ 播種ゾーン
雑木林構成種の種子を播く
- ④ 表土ブロック移植ゾーン
伐採地などの表土を林床の植物ごとブロック状に切り出し、移植する

似顔絵・小田悦望氏



狭山市長 町田潤一

校やクラス間で、臨場感あふれる動画の双方向通信ができ、今後子ども達の国境を越えた交流が期待できます。さて、芽吹きを迎え

桜咲く入学式、新学期・新年度のスタートです。穀物の発芽を促す穀雨ながら、市の事業も進展します。先月、小・中学校を結ぶ教育情報ネットワークが、授業や総合学習で利用できる学校間のイントラネットとして、さらに世界を結ぶインターネットとしての利用拡幅をしました。特に光ファイバ通信網によるテレビ会議システムは学

たくめぐり山地区」、3月31日には最後の煙突が撤去されました。そして緑地保全と山林所有者の相続税の優遇を目的に、市南部の山林所有者(296名、113ha)に代わってJ.A.いるま野が取りまとめた森林施業計画を狭山市が認定しました。これは山間部の森林組合などに例があるものの、都市部の平地林を対象にした認定は、全国初であります。計画では自然再生事業が進むめぐり山地区の所有者も参加して、開発に伴う雑木の伐採の抑制につながるものです。新しい年度も、市政運営を全力で推し進めてまいります。市民皆さんのさまざまなご意見をお聴かせください。

市長の主な動き

- 3/1... 高齢社会を考える集い、津南雪まつり
- 3/4... 狭山市住宅協会第1回評議員会
- 3/7... 東京防衛施設地方審議会、狭山准看護学校卒業証書授与式
- 3/8... 狭山ささえあい福祉公社3周年記念事業
- 3/9... 消防団第3分団第1部車庫引渡し式
- 3/11... 狭山市振興計画審議会
- 3/12... 信号機火入れ式、埼玉県環境審議会
- 3/13... 埼玉県自動車排出窒素酸化物及び粒子状物質総量削減計画策定協議会
- 3/18... 狭山市教育情報ネットワーク開通式
- 3/22... 白寿の祝い
- 3/24... 白寿の祝い、三市消防相互応援協定連絡協議会
- 3/26... 森林施業計画認定書交付式、狭山シニア・コミュニティ・カレッジ修了式、シニア海外ボランティア表敬訪問
- 3/27... 青少年問題協議会
- 3/28... 埼玉県都市競艇組合議会定例会
- 3/29... 茶の木賞表彰式

まちづくり 時事

自然エネルギー活用促進事業補助制度を創設します

地球温暖化防止対策の1つのメニューとして、自然エネルギーの利用促進を図るための補助制度を開始します。この制度では、住宅用太陽光発電システムを設置する市民に対して、設置に要する費用(1kw当たり5万円、上限10万円)を補助します。 問合せ環境政策課へ内線3671

地域新事業創出基盤施設「さやまインキュベーションセンター21」が完成

中小企業・起業家などの育成支援を目的に「さやまインキュベーションセンター21」が完成しました。入居者は、インキュベーションマネージャーによる総合的な助言・指導、国・県の各種支援策や地域技術系大学のシーズ紹介、市内大手企業のバックヤード機能といった産学官が連携した支援を受けられます。今後、地域からの新産業の創出はもとより、国内経済の活性化に役立つと期待します。 問合せ商工課へ内線2551



(仮称)新都市線の整備に着手しました

狭山市駅西口周辺の道路交通網の充実を図るため、都市計画道路・狭山市駅上諏訪線から中央図書館前までの区間(延長約395m)の市道整備を進めています。なお、

入間川小学校跡地にある多目的広場の利用区域を縮小しますが、直接工事に係わらない区域は従



来どおり多目的広場として利用できます。 問合せ狭山市駅西口開発事務所へ☎955 0023